

別紙2 不妊治療の保険適用に関する当事者の意見募集項目

「不妊治療の保険適用」に関して当事者からの意見を、2021年11月26日～2021年12月5日にWEB回答フォームにて募集した際の項目です。

=====

不妊治療の保険適用に関する、みんなの意見募集

菅義偉前首相が打ち出した「不妊治療への保険適用」は、
2022年4月から始められる予定になっています。

2021年11月17日(水)、厚生労働大臣の諮問機関である
中央社会保険医療協議会（中医協）では、
不妊治療の保険適用に向けて本格的な議論が始まりました。

そこで、Fineは「不妊治療への保険適用」に関して、
不妊・不育当事者がいま思っていることや意見を広く募集し、
厚生労働省にお伝えしたいと思います。

現在・過去・未来の不妊体験者の方、
保険適用化についてのご意見を、ぜひお寄せください。

- 【所要時間】 約5分程度
- 【対象者】 不妊や不育症治療を受けたことのあるすべての方（これから受ける方、受けることを考えている方も含む）
- 【目的】 不妊や不育治療患者が求める、「不妊治療への保険適用」に関する意見を集めるため。
- 【活用方法】 (1)NPO法人Fineのプレスリリース、要望書提出、政策提言、メディア・学会発表など、広く社会に訴えかけるために活用。
(2)ご意見は統計的に処理され、個人が特定されることはありません。また今回の目的以外の利用は致しません。
- 【締切】 2021年12月5日（日）（予定）

<別紙2> 不妊治療の保険適用に関する当事者の意見募集項目

【項目1】 あなたが不妊治療の保険適用に期待していることを教えてください。(3つまで選択してください)

- (a) 治療費用が安くなる (ことが期待できる)
- (b) 不妊治療の「質の標準化」が期待できる (クリニックによる治療のバラつきがなくなるかもしれない)
- (c) 治療費用を貯めるまで待たなくても、不妊治療をすぐ開始することができる
- (d) 不妊治療中ということ (職場で、あるいは友人など周囲に) 伝えやすくなる
- (e) 不妊治療への社会の理解が広まる
- (f) 不妊治療を受けることが「特別ではなく、他の病気と同じ感覚である」と捉えられる
- (g) 治療成績が、設けられた統一基準によって患者にわかりやすく開示される (日本産科婦人科学会に提出の成績データを用いた上で)
- (h) その他 (記入してください)

【項目2】 あなたが不妊治療の保険適用に期待している「理由」をお書きください。(記入しなくても OK です)

【項目3】 あなたが不妊治療の保険適用で気がかりなことを教えてください。(3つまで選択してください)

- (a) 助成金 (特定不妊治療費助成制度) がなくなるのではないかな
- (b) 年齢や回数の制限が設けられるのではないかな
- (c) 医療施設の審査やチェックシステムなどができないのではないかな
- (d) 治療の質の低下につながるのではないかな
- (e) 不妊・不育症治療の内容にはさまざまな選択肢があるが、それが減ってしまうのではないかな
- (f) 自分が行なっている治療法が保険適用にならないのではないかな
- (g) かえって治療費用全体が高額になるのではないかな
- (h) その他 (記入してください)

【項目4】 あなたが不妊治療の保険適用で気がかりな「理由」をお書きください。(記入しなくても OK です)

【項目5】 不妊治療の保険適用に関して、その他にご意見があればお書きください。(記入しなくても OK です)

<別紙2> 不妊治療の保険適用に関する当事者の意見募集項目

【項目6】 あなたの不妊症治療経験について教えてください。

不妊・不育症治療中（いったんお休み中も含む）

不妊・不育症治療を過去にしたことがある

これから不妊・不育症治療を考えている

不妊・不育症治療の経験はない

その他（記入してください）

【項目7】 あなたの性別を教えてください。

男性

女性

回答を控える

【項目8】 あなたの年齢を教えてください。

【項目9】 あなたの居住地を教えてください。

【項目10】 あなたのお仕事の状況を教えてください。複数のお仕事をされている場合は、メインのお仕事についてお答えください。

ご意見ありがとうございました。